

平成30年第2回周南市議会定例会一般質問通告一覧表
(平成30年5月28日～6月4日)

1 得重謙二（刷新クラブ）

1 小・中学校における「香害」対応について

(1) MCS・SHSの現状と対応について問う。

ア 市内の小・中学校の患者数は。

イ 保護者を含めた総合的な理解活動と対象となる児童・生徒の症状に合わせた個別対応は。

2 定住人口の減少対策について

(1) 本市の取り組みと成果について問う。

ア 移住支援制度の取り組み状況と成果は。

イ (仮称)徳山駅前地区市街地再開発事業で計画されている住宅棟は、定住人口減少抑制の大きなチャンスと考える。この機を捉え、他市からの移住者に対し、住宅ローンの一部助成を初め、住宅取得に関する支援は考えられないか。

ウ 婚活支援制度の取り組み状況と成果は。

エ 新庁舎の(仮称)シビックプラットホームや徳山駅ビルのオープンデッキを活用した婚活パーティーや結婚式を企画してはどうか。

3 オラレ徳山利用者の駐車マナーについて

(1) 路上駐車現状と対策について問う。

ア オラレ徳山利用者の路上駐車が通行車両の妨げになっていることを認識しているか。

イ 現状の対策は。不十分であれば、さらなる対策や啓発が必要と考えるがどうか。

2 田村隆嘉（刷新クラブ）

1 まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

(1) 若者の市外流出を抑制するための、高等教育機関と連携したまちづくりの推進について、以下を問う。

ア 転出の実態は。

イ 地元就職率の状況は。

ウ 市内企業インターンシップ推進事業の実施状況は。

(2) 本年3月に平成29年度の評価結果を踏まえた改訂版が発表され、主要事業として「ニューツーリズム推進事業」が追加されたが、その内容は。

2 子育て支援について

(1) 平成28年8月に、櫛浜児童館は解体、その他4つの児童館は中核的子育て支援拠点施設へ転用する基本方針が出された。児童館事業について、以下を問う。

ア 既存児童館の利用状況、推移は。

イ 児童館を閉館する理由、目的は。

ウ 利用者の要望は十分に把握しているのか。

エ 本年3月末に閉館した横浜児童館について。

(7) 自由来館利用者の状況は。

(4) 講座、行事の実施予定は。

オ 児童館閉館後も同様のサービスを提供できるのか。

3 福田吏江子（新誠会）

1 屋内の子供向け遊び場について

(1) 近年、少子高齢化や核家族化の進行などにより、子供の遊び環境を取り巻く情勢や子育て環境が大きく変化している。天候に左右されることなく、子供たちが安全に、安心して自由に遊べる屋内型の遊び場や、保護者の憩いの場としての居場所づくりに対するニーズがますます高まっていると考える。市の見解と取り組み状況を問う。

(2) 教育委員会の見解を問う。

2 終活の支援について

(1) 終活支援の一環として、横須賀市が導入している「終活情報登録伝達事業」のような事業を導入することはできないか。市の見解を問う。

4 岩田淳司（アクティブ）

1 持続可能なまちづくりについて

(1) 財政面から見る持続可能なまちづくりについて、以下の計画等の視点から現状を問う。

ア 周南市まちづくり総合計画実施計画。

イ 第3次周南市行財政改革大綱推進計画。

ウ 周南市緊急財政対策。

(2) (1)の計画・対策から今後の縮小財政が予測される中、どのようなまちづくりをしていくのか。

2 投票意識の醸成と投票環境の向上について

(1) 投票に行くという意識の醸成のためにどのような取り組みをしているか。

(2) ポスター掲示場の設置場所は、不断に見直しているか。

(3) 全国では移動式期日前投票所の取り組みを始めたところがあると聞くが、我が市でのその検討はいかがか。

5 山本真吾（アクティブ）

1 生産性向上特別措置法について

(1) 市は、生産性向上特別措置法の成立を受けて、市税条例を改正し、3年間、中小企業の償却資産に係る固定資産税をゼロとする方針を示された。そこで以下を問う。

ア 方針を決定した理由は。

イ 税収への影響は。

2 公共看板について

(1) 傷んでいたり、文字が消えていたり、景観を損ねていたり、また、看板の機能に問題はないが、「徳山市」や「新南陽市」など、旧自治体名が残っている公共看板の点検、交換、撤去などの対応は、現状どのようになっているか。

- ア 公園に設置されている看板。
- イ ごみステーションに設置されている看板。
- ウ 上記以外の場所の案内看板やマナー看板。

3 しゅうなん通報アプリについて

- (1) 通報件数とその内訳は。
- (2) 利用者からはどのような声があるか。
- (3) 利用者をふやすための取り組みは。
- (4) 本年4月にKビジョンの番組で紹介されたと聞いたが、どのような内容であったか。より多くの市民の方に利用していただくためにシティーケーブル周南の番組でも取り扱ってもらってはどうか。

6 遠藤伸一（公明党）

1 認知症施策について

- (1) 認知症初期集中支援チームの活動実績と今後の取り組みについて以下を問う。
 - ア 設置後の相談件数は。
 - イ 医療・介護・地域の各関係機関への引き継ぎは。
 - ウ 認知症初期集中支援チームの周知及び認知症ケアパスの普及について、現状を問う。
 - エ 実績及び成果をどう評価しているか。また、今後の課題は。

2 墓地行政について

- (1) 市営墓地の現状について以下を問う。
 - ア 市営墓地の総区画数及び利用率は。
 - イ 申請数と返還数の推移は。
 - ウ 民間墓地も含めた需要と供給について。
 - エ 無縁墓に関する実態調査及び対応は。
- (2) 無縁化防止に資する条例改正が必要な時期に来ていると思うが、市の見解は。
- (3) 使用期限や管理料の徴収を規定した新たな運営方法の導入を検討すべきと思うが、市の見解は。
- (4) 終活に関する相談窓口の設置など、行政による終活支援事業について、市の見解を問う。

7 佐々木照彦（六合会）

1 学校における働き方改革について

- (1) 国や山口県において「学校における働き方改革」が議論され、具体的な対策や事業予算が示された。以下の点について問う。
 - ア 業務の見直し・効率化を図る上で、学校・教師が担う業務のあり方に関する考え方は。
 - イ 勤務体制等改善について。
 - (ア) 勤務時間の適正な把握の仕方は。
 - (イ) 適切な部活動のあり方は。
 - (ウ) 「時差出勤」、「ノー残業デー」、「学校閉庁日」等の設定は。

ウ 学校支援人材の活用について。

(7) 学校業務支援員の配置をしているか。

(8) 地域連携活動支援員の配置をしているか。

(9) 部活動指導員の配置をしているか。

(10) 地域連携教育アドバイザーの役割は。

2 観光振興について

(1) 「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成29年度改訂版）」に基づき、観光交流の促進について下記の項目にどのように取り組んでいくのか、考え方を問う。

ア ニューツーリズム推進事業。

イ ICT活用情報発信事業。

ウ 広域観光推進事業。

エ 国際観光推進事業。

8 土屋晴巳（アクティブ）

1 がん検診について

(1) 本市は、国の指針に基づき5種類のがん検診（胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診）及び独自に前立腺がん検診を実施しているが、受診状況等はどのようになっているか。

(2) 平成26年度より受診者増を目的に「デビュー検診」を企画したが、その効果は。

(3) 本年度がん検診の受診率向上に向けた取り組みを県が計画している。本市も県と連携して、受診促進のための啓発活動を展開してはどうか。

(4) 本市の死因別順位では、第1位が悪性新生物（がん）であり、部位別では平成27年度で男女ともに胃がんが第2位という実情にあるが、本年度より胃がん検診の内容が変更になると聞く。どのように変わるのか。

2 避難所運営マニュアルの策定について

(1) 大規模災害時には避難所が開設される。避難所の円滑な運営のためには、地元の理解と協力が必要である。県では、平成30年3月に避難所運営における「地域住民による自主的な避難所運営ガイドライン」を作成している。本市においても、地域住民による避難所運営マニュアルを策定する必要性を感じるが、市の考えを問う。

9 相本政利（公明党）

1 第2次周南市環境基本計画の取り組みについて

(1) 新エネルギーの活用と低炭素社会の実現について問う。

ア 新エネルギーの導入促進における目標として燃料電池自動車（FCV）の登録台数を掲げているが、その状況は。

イ 再生可能エネルギーの導入促進の状況は。

ウ 再生可能エネルギーを利用した設備は、経年劣化による故障が頻発し、修繕費用の負担が大きいと聞いているが、今後の普及拡大計画は。

エ 省エネルギーの普及促進として家庭用燃料電池（エネファーム）設置台数を掲げてい

るが、その状況は。

(2) 循環型社会の形成について問う。

ア ごみ分別回収の取り組みによるごみの減量化の状況は。

イ 再資源化の状況及び今後の取り組みは。

2 国民健康保険の取り組みについて

(1) 周南市国民健康保険第2期データヘルス計画について問う。

ア 計画策定の背景とその目的は。

イ 第1期計画の評価は。

ウ 第2期計画の目的及び内容は。

エ 特に「特定健診」について問う。

(ア) これまでの受診率の推移及び今後の目標は。

(イ) 受診率向上の具体的な施策は。

3 がん検診について

(1) がん検診受診率について問う。

ア 各がん検診受診率の推移は。

イ がん検診受診率向上に対する施策は。

10 魚永智行（日本共産党）

1 人・農地プランについて

(1) 本市における策定状況はどうか。

(2) 後継者対策や遊休農地の活用をさらに推進するために、農業委員や農地利用最適化推進委員との連携を強めることが有効であると思うがどうか。

2 周南市高齢者プランについて

(1) 昨年、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律が成立、公布された。また、介護報酬も改定されている。これらの改定について、本市はどう対応していくのか。このことについて、以下を問う。

ア 市町村に保険者機能の強化を求め、新たに自立支援、介護給付費適正化等に関する施策、目標を定めて、国がその達成状況の評価し、インセンティブとしての交付金を支給する仕組みがつけられるが、給付抑制につながると考えるがどうか。

イ 新たに創設される介護医療院は、地域医療構想により削減される医療療養病床の受け皿と考えるが、医療を必要とする高齢者に十分対応できるのか。

ウ 「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念を実現するため、市町村が包括的な支援体制づくりに努めるとしているが、本来、公的な責任で行うべき福祉の仕事を「互助」に置きかえて、ボランティアで行うなど、介護給付費の削減を狙ったもので、サービスの低下につながると考えるがどうか。

エ 生活援助について、介護報酬の改定で、人員基準の緩和と介護報酬の引き下げがされるが、介護サービスの削減につながると考えるがどうか。

オ 介護サービス利用に当たり、「現役並み所得者」の自己負担割合が3割に引き上げられ

るが、介護サービスを利用したくても利用できない人をふやすことになるのではないか。
また、介護者、家族の生活に新たな負担をもたらすものとなると考えるがどうか。

3 ナベツルの越冬地である八代地区における米軍機の目撃情報について

- (1) ナベツルを保護する観点から、監視体制を強化するために、まず、騒音測定器を置くことを提案するがどうか。
- (2) 米軍機の飛来が確認されれば、八代地区の上空を飛ばないように要請することが必要となると考えるがどうか。

4 しゅうニャン市プロジェクトについて

- (1) シティプロモーション事業の一環として、市職員がキャラバンカーを運転して全国を駆けめぐってPRすることになっているが、交通事故を心配している。対策は考えているか。運転は市職員がするのではなく、専任のドライバーを雇用することを提案するがどうか。

1 1 金子優子（公明党）

1 ひきこもり支援について

- (1) 本市におけるひきこもりの現状について問う。
 - ア 実態調査の実施や相談件数の把握はしているか。
 - イ ひきこもりの相談窓口と対応は。
- (2) 今後の対応について問う。
 - ア 相談窓口の周知の強化として、市の窓口への表示やホームページでの情報発信をするべきではないか。
 - イ 訪問支援を含めたきめ細やかな支援の強化が必要と考えるが、市の見解は。

2 老朽化した道路照明灯の撤去について

- (1) 市が管理する道路照明灯の数は。
- (2) 撤去についての地域住民への説明と撤去後の対応は。

3 生誕100年を迎える林忠彦氏について

- (1) 本市出身の写真家である林忠彦氏の生誕100年を記念しての特別展覧会が開催されるが、どのような計画になっているのか。
- (2) 全国へ発信するには、市全体での盛り上がりが必要と考えるがどうか。また、市内外への周知とアピールの方法は。

1 2 島津幸男

1 「ひと」の面から見る市政運営について

- (1) 市職員の人材確保のあり方について、以下を問う。
 - ア 職員採用の基本的な考え方と採用基準は。
 - イ 求める人物像は。
 - ウ 過去5年間の採用試験申込者数及び採用人数は。
 - エ 以下の点に着目することが重要と考えるが、どうか。
 - (7) 公平性・公正性の確保。
 - (4) 費用対効果。

- (d) 市財政への影響。
 - (e) 仕事の仕方。
 - (2) 人材育成のあり方について、以下を問う。
 - ア 研修制度の内容及び費用は。
 - イ 研修制度によって得られた成果をどのように測定するのか。
 - (3) 業績評価について、以下を問う。
 - ア 業績評価の内容及び評価基準は。
 - イ 自己申告制度の活用は。
-

1 3 福田文治（六合会）

1 きれいな町並みづくりについて

- (1) 徳山駅前図書館が、本年2月にオープンし、予想以上の来館者に加え、飲食施設についても、若者を中心に数多くの利用者でにぎわっている。また、市役所新庁舎建設工事も順調に進捗しており、町並みが大きく変わろうとしている。しかしながら、徳山駅周辺及び中心市街地の街路には、背丈の伸びた雑草、街路樹の側枝がはびこり、「住みたくなる町」、「行ってみたい町」にはほど遠い状態である。そこで、行政、市民が一丸となって街路樹の剪定や街路の清掃を行い、きれいな町並みづくりに取り組むことで、コンベンションシティの推進及びシビックプライドの醸成にもつながると考え、以下を提案する。
 - ア 徳山商工会議所、周南観光コンベンション協会等に協力を依頼してはどうか。
 - イ 市広報や、ケーブルテレビの放映等で、PR活動をしてはどうか。

2 福川地区における雨水対策について

- (1) 中開作第1雨水幹線を含む浸水対策の進捗は、計画どおり進んでいるのか。
 - (2) 本陣川氾濫による被害から、市民の生命・財産を守るべく、恒久的な対策が必要と考えるが、市の取り組み状況は。
-

1 4 尾崎隆則（嚙矢会）

1 熊出没・目撃情報の対応について

- (1) 平成30年5月10日木曜日の13時56分に、しゅうなんメールサービスから配信された、熊捕獲情報についてのメールを受信したが、捕獲日時は5月6日日曜日の10時00分ごろとなっていた。このことについて、以下を問う。
 - ア 捕獲日から4日おくれて、捕獲情報についてのメールが配信されたが、その理由は何か。
 - イ 捕獲した熊をどのように処理したのか。
 - ウ 地元への周知はどのように行ったのか。
 - エ 今後の対応は、検討しているのか。

2 公園管理について

- (1) 公園の種類の違いで管理方法が異なり、遊具や樹木の剪定など、維持管理が難しくなっている。特に団地などでは、公園として開発されたときに簡易な遊具が設置されたが、数十年が経過し、鉄棒やブランコ、滑り台などでは、地面と接する箇所が腐食が進み、使用禁止となり、撤去されたところもある。そこで、以下を問う。

- ア 遊具の保守・点検はどのようにしているのか。
- イ 遊具を撤去した後、新たな遊具が設置されない公園があるが、その理由は何か。
- ウ 特に児童遊園は、遊具がなくなると子供が遊びに来なくなり、草刈りなど自治会の負担だけが残るが、このことをどのように考えているか。
- エ 団地によっては、子供の数がふえているところもある。遊び場づくりも行政の仕事と考えるが、どうか。財政状況が厳しいからやらないという理由では、市民は納得しない。

15 古谷幸男（嚙矢会）

1 徳山駅前図書館及び中心市街地のにぎわいの創出について

- (1) 徳山駅前図書館の館外貸出利用者数は、2月が13,121人、3月が14,305人、中央図書館の館外貸出利用者数は、2月が対前年比92%で6,331人、3月が対前年比94%で6,981人と報告があった。そこで、以下を問う。
 - ア 徳山駅前図書館の4月及び5月の実績はどうか。
 - イ 中央・新南陽・福川・熊毛・鹿野図書館の状況はどうか。
 - ウ 徳山駅前図書館で貸し出された図書の分類別の割合を問う。
- (2) 蔵書について、以下を問う。
 - ア 徳山駅前図書館では、新刊、話題の図書が多くあると聞いているが、他館に比べ、それらの在庫が豊富なのか。
 - イ 徳山駅前図書館の貸出件数が多いが、現在の蔵書数で十分足りているか。
 - ウ 徳山駅前図書館の年間の図書購入は、計画的に行うことになっているのか。他の図書館の図書購入の状況はどうか。
 - エ 中央図書館で購入した図書を、徳山駅前図書館に移管させることがあるか。
- (3) 図書購入費について、以下を問う。
 - ア 平成30年度の各館の図書購入費は。
 - イ ふるさと納税で指定寄附のあった図書購入費は、どのように活用するのか。
- (4) にぎわいの創出について、以下を問う。
 - ア 徳山駅前図書館は、にぎわい創出の核施設としてつくられた施設であるが、今の状況をどのように捉えているか。
 - イ 新庁舎が完成し、仮庁舎（旧近鉄松下百貨店）の全ての部署が新庁舎に移る。徳山駅周辺に及ぼす影響をどのように捉えているか。
 - ウ ちょい乗り100円バスの実績を問う。
 - (ア) 月別利用者数。
 - (イ) 曜日別利用者数。
 - (ウ) 時間帯別利用者数。
 - エ ちょい乗り100円バスの運行によって、徳山駅前図書館及び徳山駅前賑わい交流施設の来館者数等、中心市街地のにぎわいの創出に影響があったか。どう分析しているか。
- (5) 徳山駅西駐車場の利用実績を問う。
 - ア 月別駐車台数。
 - イ 曜日別駐車台数。

- ウ 時間帯別駐車台数。
 - エ 1台当たりの駐車時間。
- (6) 中央図書館の耐震工事はいつから行われるのか。その間、図書の貸し出し等どのような体制がとられるのか。
-

16 福田健吾（六合会）

1 保育行政について

- (1) 社会の変化、特に働き方が変わってきている中、周南市における休日保育を問う。
- ア 現状は。また、ニーズの把握は。
 - イ 現在、民間保育所のみの実施となっているが、利用の手続方法は。また、今後の展開は。
 - ウ 公立保育所に導入する場合の問題点は。
 - エ 女性の社会進出と3次産業での雇用の増加が見込まれる中で、周南市としてどう取り組んでいくのか。

2 福川地区の今後について

- (1) 市内における位置づけと課題の把握について問う。
- ア 市内における福川地区の位置づけは。
 - イ 行政が対応すべき課題についてどう捉えているか。
 - ウ 個別の問題について問う。
 - (ア) 買い物弱者対策。
 - (イ) 安全対策（道路、防災等）。
 - (ウ) 福川駅周辺整備。
-

17 長嶺敏昭（六合会）

1 新たに整備される防災行政無線の目的、機能及びコミュニティFMラジオの放送内容と防災ラジオの配備計画について

- (1) 屋外拡声スピーカーで放送される情報はどんな内容を想定しているのか。具体的な放送の案文はどんなものか。
- (2) 市内全域で61カ所整備される屋外拡声スピーカーで情報が伝わる範囲及び人口規模はどの程度か。中山間地域などは、十分とは全く思えないがどうか。特に、広い鹿野地域にたった1基の設置とのことだが、機能しないのではないか。計画は万全か。
- (3) コミュニティFM放送のラジオからの放送内容は、屋外拡声スピーカーと全く同様か。また、各戸への防災ラジオ配備計画はどうなっているのか。無償貸与されるのか。
- (4) 山間部地域等は、携帯電話に見られるようにコミュニティFM放送も電波不感地域があるのではないか。
- (5) 防災、避難情報の提供も、市域の広い周南市では、きめ細かな地域別情報伝達が必要だ。運用方法の変更を検討する必要があるのではないか。

2 法改正による鹿野、熊毛地区の既存の防災行政無線における行政サービス後退の懸念と今後について

- (1) 現在使用している鹿野地区45カ所、熊毛地区33カ所の屋外拡声スピーカーは法改正

により無用の設備となると考えられるが、解体撤去されるのか。

- (2) 新たな防災行政無線が整備されることにより、鹿野、熊毛地区では、地域の暮らしに溶け込みながら時を告げてきたミュージックサイレンを初め、火事発生のお知らせ並びに消防団の招集放送、広島・長崎の原爆投下時刻や終戦記念日の追悼サイレンがなくなると聞く。住民の暮らしに影響が出るのではないか。例えば、設備を有線化するなどで残すことはできないか。対策はあるのか。
- (3) 鹿野地区の防災行政無線は、以前各戸に有線放送が完備されていた歴史があり、熊毛地区とも違い、戸別無線受信機が全戸に貸与されており、災害情報だけでなく行政情報、福祉情報、イベント情報等を聞くことができている。廃止になると、大きな行政サービスの後退になると考えるがどうか。
- (4) デジタル一元化による鹿野、熊毛地区への影響や不満への懸念は、どう考慮され、現状の計画になったのか。平成34年11月末までは設備を継続使用のようだが、その後の地域コミュニティ維持のために、3年間でどう対処する考えか。

18 青木義雄（六合会）

1 下水道整備について

- (1) 櫛ヶ浜・栗屋地区下水道未整備エリアの事業着手の方向性を問う。

2 徳山駅以外の駅について

- (1) 周南市徳山駅前賑わい交流施設及び周南市立徳山駅前図書館がオープンして多くの入館者でにぎわっているが、一方で徳山駅以外の駅についても目を向けなければならない。徳山駅以外の駅についての整備や対応が必要な状況がどのくらいあるのか。その中で、早急に設置が望まれる櫛ヶ浜駅トイレの水洗化について、どのように考えているのか。

3 市街地再開発事業について

- (1) 徳山駅前地区市街地再開発準備組合から（仮称）徳山駅前地区市街地再開発事業の再開発基本計画が公表された。総事業費のうちの補助対象の3分の1を市が補助することとなる。かなりの負担額が予想されるが、それに対する市の考えは。

4 老舗ホテルの閉館について

- (1) 旧徳山市時代から長年市民に親しまれてきた老舗ホテルが閉館した。市を代表する象徴的なホテルであり、客室減少のみならず多くの影響が懸念される。この状況に対する市の対応はあるのか。

19 井本義朗（アクティブ）

1 新庁舎における行政サービスについて

- (1) いよいよ市役所が本年6月から8月にかけて新庁舎に移転する。さまざまな機能強化が図られるが、市民が行政サービスの充実を実感できる業務体制を同時に構築することも非常に重要であると考え。そこで以下を問う。
ア 新庁舎に移り、窓口業務はどのように変わるのか。また、ワンストップサービスの内容はどのようなものか。
イ 全職員のホスピタリティーの向上がこれまで以上に重要だと考えるが、どうか。

2 消防団の車両について

- (1) 道路交通法の改正により、平成29年3月12日以降に取得した普通免許では、重量3.5トン以上の車両の運転ができなくなった。そのため、今後取得される普通免許では、3.5トン以上の消防団車両を運転できず、活動への支障が懸念される。そこで以下を問う。
 - ア 市内の消防団の車両のうち、問題となる3.5トン以上の車両の台数は。
 - イ 今後、購入する車両は3.5トン未満の仕様にするなどの対応はできないのか。
 - ウ 今後、自治体が、消防団員の準中型免許の取得に要する費用を助成する場合、国が支援する動きもあるようだが、これに取り組む考えはないか。

20 中村富美子（日本共産党）

1 新南陽老人福祉センター等の機能訓練室の使用機器の変更について

- (1) 介護予防の考え方が変わったという理由で、使用機器が変更をされたが、利用者の不満の声を多く聞く。
 - ア 変更理由の法的根拠は。
 - イ 説明会やアンケートを行っているが、なぜ、変更直前に行ったのか。
 - ウ 事業の取り組み変更で、交付金の導入があるようだが、これは地域包括ケアシステム推進のあめと考える。変更しなければ、ペナルティーがあるのか。
- (2) 新南陽老人福祉センターは、老人休養ホーム嶽山荘との併設である。使用機器の変更で老人福祉センターの利用者が減少すれば、嶽山荘の存続を危惧する声があるかどうか。

2 徳山駅前図書館の高架書架整備について

- (1) 委託契約から1年が経過し、業務委託設計書を公開していただいた。洋書整備の積算根拠が不明瞭であり、問題ではないか。
- (2) 洋書整備を中止した理由は。
- (3) 洋書整備から本型アートに変更した。本型アート整備の積算根拠が不明瞭であり、問題ではないか。
- (4) 洋書にしても本型アートにしても、このような業務委託設計書の作成は問題ではないか。よしとした理由は。
- (5) 徳山駅前図書館の目玉とした高架書架に対する入館者の反応はどうか。壁のペイントでもよかったのではないか。

21 田村勇一（新誠会）

1 市営住宅の空き家対策について問う

- (1) 空き家の現況は（戸数）。
- (2) 空き家が生じる原因は何か。
- (3) 原因解決に向けた対策は。
 - ア 入居要件の緩和をするべきではないか。

2 自転車事故防止対策について問う

- (1) 事故発生の現況は（件数）。
- (2) 事故防止の啓発は。
- (3) 自転車保険の加入義務化を検討するべきではないか。